彦根キャンパスサポートの会	承認	作成	
議事録 (項目) 地域活動PJ全体会議	福永	藤尾	

項　目	内　　容
表　題	第2回地域活動PJ全体会議と第1回 アンケート委員会
日　時	2025年2月5日（水）10時～11時45分
場　所	彦根キャンパス　4階コージータウン　Bルーム
開催目的	①愛知川河畔林 愛林活動について 反省点の集約と来年度の方向性協議 ②レイカディア大学卒業生の地域貢献活動アンケート調査の情報共有
出席者 （敬称略）	矢野代表　小林副代表　清水総務部長　福永リーダ サブリーダ：中澤、武山、増田、赤塚、藤尾、小崎 三原、浅岡、辰巳、西島、西堀正、伴、峰山、井戸、大脇、小野崎、川原崎、多川、中野、南部、林、吉田、野瀬、 北村、清水、田中　（合計　30名）
欠席者 （敬称略）	西堀幸、高岸、元持、橋本、大原、藤居、赤鹿、布施、万野、伊藤、大林、西村、瀧澤、藤本、垣見、富江、西澤、 高田、杉本、小島、浅居　（合計　21名）
議事内容	（議題・決定事項：簡潔記入）
愛林活動 反省点	来年度は反省点の改善を進めると共にクラフトの種類についても再検討したうえで進める。 改善は44期が中心になるので本会議後に役員で協議し44期北近江文化の藤尾を次期リーダに選出した。 今年度の反省点と対応方針は以下に示す。 （葉ボタンの育成は受け継がれるべき技術として継続できるように考慮する） 今年度の反省点と対応指針 ①竹の伐採時、倒れる竹に対してヒヤリとする事例があった。➡安全対策として二人作業の徹底 ②伐採した竹の整理が不十分➡河畔林の会の指導に従い整頓する。事前マニュアル作成 ③今期は43期生中心に推進されていたので44期生はその場対応になっていた。 ④12月14日は時間をかけた集まったが作業時間は20分程度だった。来期は人員と作業分担を検討 ⑤松のサイズが大き過ぎと言う意見があった➡切って使ってもらう前提なので了解してもらう。 ⑥伐採場所と処理竹の置場及び休憩場所の位置関係が悪く何度か移動する無駄が発生した。 ➡河畔林の会と事前によく相談して無駄がでないよう配置を検討する。 ⑦葉ボタンは猛暑等の影響もあり育成に苦労した。継続して使うなら育成技術の継承を考える必要がある。 ⑧寄植は竹加工が多く、完成した人は皆無に近かった。クラフトの種類、作業方法など検討する。 ☆セット組を袋で配った点は作業進行上、効率的で大変良かった。
アンケート 委員会	レイカディア大学卒業生 地域貢献活動アンケート調査について内容を共有した。 各期各学科でアンケートの責任者とデータを集約する専任者を選出して速やかにリーダに報告する。 （専任者はアンケートの送付先であると同時に学科のデータを集約する作業の担当者である） 出席者：矢野代表、小林副代表、清水総務部長、福永リーダ、増田、赤塚、藤尾、小崎　　欠席：西堀幸 アンケートの内容 ①これはサポートの会が事務局から請け負って実施している。 ②調査目的　卒業生の活動実態を明らかにすることで、レイ大の存在意義と在校生の活動指標を示すこと。 ③調査対象　42期、43期、44期の卒業生全員 ④スケジュール　調査用紙等は4月16日発送される予定で回答期限は5月15日の予定 ⑤地域活動Pjの役割は各期各学科にデータを集約する者を一名選出する。 専任者は学科の情報をすべて統一したエクセルシートにまとめてデータで事務局に提出する。 ※手書きやFAX、事務局に送付された物も専任者がデータ入力することになる。 （毎年のことなので手入力が最小になる効率的な方法がないか調査も行う）
その他	

※議事内容、出席者、欠席者を全て記入できない場合は、別紙添付してください。	記　入 責任者	藤尾 義彦